

KADENZA

KADENZA カデンツァ VOL.89 | 2026 JUL-SEP

ISHIKAWA ONGAKUDO / ORCHESTRA ENSEMBLE KANAZAWA CONCERT GUIDE



野村萬斎、音楽を語る

インタビュー 北村朋幹



石川県立音楽堂

オーケストラ・アンサンブル金沢

野村萬齋、音楽を語る

音楽堂の舞台から新たな時空が生まれる夢



MANSAI NOMURA
on the Art of Music

▲今年11月に再演する、萬齋のおもちゃ箱 Vol.3「真夏の夜の夢」(2025年2月22日・コンサートホール)

野村萬齋が石川県立音楽堂邦楽監督になってから早5年、芸術監督と名称や役割が広がりつつ「MANSABORO」や「恋は魔術師」など石川・金沢発の創作の発信を続けてきた。今回は音楽とどう親しんできたか、オーケストラとのコラボレーションの際にどう音楽と関わるのかを伺ってみたところ、そこから音楽堂における「芸術監督」という役割が垣間見えた。

野村萬齋は、狂言師野村万作の長男として生まれ育った。「姉二人がピアノをやっていた、僕もやりたいと言ったとき、狂言や能と無縁の音感や体の使い方への弊害を危惧した父は、随分反対しました。でもそれをやって困ったことはなかったですね」

文学少女だった母親のおかげで、父の専門と異なる音楽も流れていた。

「母は普段からビートルズやカーペンターズを好んで聴いていました。歌謡曲も全盛で、みんなで聴いていました。中学時代はフォークソ

グが流行し、ロックバンドやベストヒットUSAも。タワーレコードでしこたまジャケ買いしましたよ、ハードロック、ヘヴィメタルが中心でしたけど。ディープ・パーブルとか、バッハの影響を受けていることもあって、意外と、感じるものがあります。高中正義さんにも非常に憧れ、同じギターを買い、ロックもやりながらフュージョン系の音楽を随分やりましたね」

若き狂言師は西洋楽典必須の東京藝術大学に進み、シェイクスピアに興味を持ち英国留学。2021年から石川県立音楽堂の邦楽監



▲第42回東京定期公演 野村萬齋 with OEK フェリヤ「恋は魔術師」(2026年3月17日・サントリーホール) 音楽堂はもちろん、全国6ヶ所でツアーを行った。

督、2024年よりアーティスティック・クリエイティブ・ディレクターに就任し、オーケストラ・アンサンブル金沢と向き合う。「オーケストラとはちよつと違う環境でずっと音に興味を持ってきたので、クラシックの音圧は僕にとって新鮮なものでした」

音楽を語るとき、萬齋は「音圧」という言葉を重視する。

「邦楽の世界には、複数の楽器が同時に和音を奏でるときの音圧がない。メロディー楽器は笛しかないですし、打楽器的にリズム主体で吹いている。西洋楽器に通ずる和楽器は笙くらい。基本的には日本の楽器は、和音や音圧がまとわりつくものより、直線的に人に刺さる音の方が多いいがします。邦楽自体が単純な編成ですから、トリッキーに鼓など打たないと動きが出ない。ハードロックやメタル、フュージョンやジャズも聴いたりして、僕の音楽性の中でそのトリッ

キーな所にはすごく興味がありました」

音楽堂の芸術監督とは、という問いに、監督は正面から答える。

「音楽を2次元とするならば、それを立体にした3次元的な領域を僕が受け持ちます。音楽をひとつの音だけではなく、舞踊、能楽的側面、演劇性など立体的に盛り込んでいく。総合的な見地での石川県立音楽堂における芸術監督と考えております」

勿論、ベースは能の時空だ。

「能舞台という何もない空間で演技をする時に、一番気にするのが時間と空間です。狂言も身体を使いますが、台詞が7割、動きが3割というぐらい台詞の音楽性を気にしています。音の上げ下げ、音の種類、止め方、伸ばし方含め、細かくキャッチボールをするように会話をしていく。音のあり方をものすごく感じると同時に、体で受け止め発信し、空間を作っていく。ただ音楽を聴くことよりも、時間と空間

劇場とは、生きている人が生きている人に見せ、生きている実感を感じる場所



萬齋の新春玉手箱より狂言「越後聲 双之舞 千尋谷落」(2026年1月24日・邦楽ホール)



毎年高校生の鑑賞教室を行う、萬齋からのメッセージ「山月記・名人伝」(2026年7月7日・邦楽ホール)

EVENT REPORT

THIS ISSUE'S HIGHLIGHTS



オーケストラ・アンサンブル金沢 第500回定期公演 フィルハーモニー・シリーズ
5/23(土) 会場:コンサートホール

▲ベートーヴェン／交響曲第9番「合唱付」。経塚果林(ソプラノ)、石田 澪(メゾ・ソプラノ)、工藤和真(テノール)、池内 響(バリトン)、OEK合唱団(合唱指揮:浅井隆仁)



▼ロビーに設置されたこれまでの定期公演の記録写真。この特別展示は一部イベントを除き音楽堂1Fやすらぎ広場でご覧いただけます。



5月23日は晴天、ガルガンチナ音楽祭の余韻をそのままに500回目の定期公演は満員御礼。コンサートホールのロビーには第1回定期公演からの公演写真、会報「アンサンブル金沢」そしてこの情報誌「カデンツァ」が全号並べられ、楽団員がコメントを寄せた動画が流れていた。この日のプログラムには天沼裕子(OEK初代常任指揮者)のお祝い文が掲載され、ずっと応援してくださったファンの皆様と共有するお祝いのムードと変わらぬ熱さがそこにあった。演奏されたのは池辺晋一郎「豊穣の道」とベートーヴェンの「第九」。現代音楽を毎年委嘱

してきたOEKが和と洋が響き合う石川県立音楽堂に相応しい作品と、OEKが十八番とするベートーヴェンの交響曲。祝祭感溢れる「第九」を広上淳(OEKアーティスティック・リーダー)が指揮した。話は変わって、OEKは7月2日に501回目の定期公演を終えたが、指揮台に立った若き俊英リョクオクマンは記者会見で「リハーサルの前に金沢の街を巡ったが、この規模の都市に定期公演を500回迎えたオーケストラがあることは驚くべきこと」と語った。金沢はもちろん隣県にも政令指定都市ほどの人口を

持たない北陸という地に、室内管弦楽団とはいえプロフェッションナル・オーケストラが成立するという。これは加賀百万石から続く文化都市としての恩恵はもちろんのこと、岩城宏之初代音楽監督が金沢に白羽の矢を立て、OEKとしての歴史を積み重ねてきた凄みがそこにあると胸を張りたい。歴史はまだ続いていく。



公演の最初に演奏された池辺晋一郎「豊穣の道」。
写真左から中村仁美(筆楽)と久保田晶子(薩摩琵琶)

MANSAI NOMURA
on the Art of Music



萬斎のDENGELラボ Vol.2「平家物語」(2024年6月27日・交流ホール)

☑というイメージが染み付いている。この考え方は、3歳から舞台をやっている感覚と、それ以降に僕が色々に親しみ、楽しみ、憧れてきたものの影響で構成されています。マイケル・ジャクソンもいれば、ベジヤール振り付けの《ボレロ》もあります」
そうして、芸術監督は金沢で劇場を創る。
「劇場とは、生きている人が生きている人に見え、生きている実感を思う場所です。悲劇、失恋、コメディ、楽しい音楽、荘厳な音楽、なんであるうが、自分の人生を振り返り、生きてよかったと生を共有するのが劇場の使命。そう思ったときに、僕がオーケストラに対して何かお役に立てることがあるならばやらせていただきたい。もしかしたら、演劇の演出家より相性がいいかな、という気もしてきました(笑)」
音楽堂の舞台から新たな時空が生まれる夢。
「石川・金沢で作ってきた作品が日本全国をまわり、世界に行って評価を得た時に、皆さんにも納得して喜んでもらえる。そういう地域との密着性がベストだとも思っております」

>> Upcoming Performances

7/25[±] ①開演 13:00 ②開演 17:00
会場:交流ホール

萬斎のDENGELラボ「源氏物語」

行者・語り ほか:野村萬斎(石川県立音楽堂芸術監督)
能「野宮」シテ:観世喜正
能「葵上」シテ:観世淳夫
光源氏:野村裕基
六条御息所:井上安寿子 ほか

能「野宮」「葵上」
京舞「夕顔」「葵上」
湯浅譲二「ミュージック・コンクレート『葵上』」
円地文子訳「源氏物語」

【全席自由】一般 6,500円 / 月記セット12,000円

※昼の部、セット券は完売

9/5[±] 開演 14:00
会場:コンサートホール

開館25周年記念「萬斎のおもちゃ箱」Vol.5
MANSAI with OEK スペシャルコンサート
～能登を繋ぐ～

演出・舞:野村萬斎(石川県立音楽堂芸術監督) 指揮:本名徹次
管弦楽:オーケストラ・アンサンブル金沢

ラヴェル「ボレロ」 ほか

【全席指定】SS席 9,000円 / S席 7,000円 / A席 5,000円 / B席 3,000円

10/22[Ⓢ] 開演 19:00
会場:コンサートホール

開館25周年記念スペシャルコンサート
シヨスタコーヴィチ「森のうた」

語り ほか:野村萬斎(石川県立音楽堂芸術監督)
指揮:山田和樹 テノール:宮里直樹 パス:加藤宏隆
合唱:東京混声合唱団、OEK合唱団、「森のうた」児童合唱団(公募)
管弦楽:オーケストラ・アンサンブル金沢

ベートーヴェン/山本直純「変」曲:交響曲第45番「宿命」
シヨスタコーヴィチ:オラトリオ「森のうた」日本語版

【全席指定】S席 8,000円 / A席 6,000円 / B席 4,000円

★劇場キャンペーン 18歳以下 S席無料

7/22 10:00発売

11/17[Ⓢ] 開演 19:00
会場:コンサートホール

MANSAI FANTASY BOX メンデルスゾーン×シェイクスピア
劇付随音楽「真夏の夜の夢」

演出・出演:野村萬斎(石川県立音楽堂芸術監督) 指揮:海老原 光
出演:万作の会、琉球舞踊
ソプラノ:石川公美 メゾ・ソプラノ:前澤歌穂
児童合唱:いしかわジュニアオペラアカデミー
管弦楽:オーケストラ・アンサンブル金沢 ほか

【全席指定】S席 8,500円 / A席 7,000円 / B席 5,000円

★劇場キャンペーン 18歳以下 S席無料

8/15 10:00発売

自分にしか見えないものがあると信じて



かぶら寿しは知人に連れて行つてもらったお店で初めて食べました。あらためて今回食べてみてもおいしいですね。日本酒が欲しくなります。お酒を覚えたのはベルリンへ留学したあとだから、最初は日本酒なんてまったく受け付けなかったんですけど、ここ数年で飲めるようになったんですよ。

20歳の時からベルリンに住んでいますが、いま日本にも家を借りて2拠点生活になりました。ヨーロッパへの強い憧れを胸に留学したので、20代半ばの頃までは、日本的なものをあまり受け入れられなかったし、あちらに永住したいとずっと思っていました。実際に日本に来て、なるべく短い滞在を心掛けてもいました。でもそのうちにパ

ンデミックが起こつて——簡単に行き来は出来ないから1か月半から2か月ほど滞在することが増えたんです。その中で、たとえば日本酒が美味しいというのを、無性にうれしく感じる瞬間があることに気が付いたり。ドイツでも日本でも都合よく外国人をやろうと思えばできてしましますが、そうではなくて日本人であることを受け入れて少し楽になれた気がします。

オーケストラ・アンサンブル金沢（OEK）との今回※のプログラムはシューマン・ガルデッラ・ブラームスの弾き振り。「モーツァルトの協奏曲を2つ」のほうは何事もなく終われるでしょうが、そうはしたくなかったのです。たとえ無茶だと言われても自分がやるなら——クラシック音楽を演奏することは「手垢」と戦わなきゃいけないわけですよ。今回演奏するブラームスのピアノ協奏曲第2番なんて皆さん一度は聞いたことがある有名な作品ですが、自分にしか見えないものがあるだろうって信じるからその曲を選ぶわけです。

今日のリハーサルでいろんなことを思いましたが、本番までにはどう整えて、どこまで突き詰めて、本番でどれだけ忘れられるか（笑）。僕は室内楽をやっていますが、それが一番いいです。信頼しているパートナーだと郷古廉さんや横坂源さん、来年1月に音楽堂で共演★する上野通明さんもそうですが、各々が真面目に取り組んで本番で全然違うことをはじめるけど、それがとても嬉しい。人数が多くなれば難しいかもしれないけど、コンチェルトは大きな室内楽になればいいなっと思っていて、今回のリハーサルで楽団員の皆さんが反

応してくださって本当に幸せで——OEKは本当に大好きなオーケストラなんです。

今回の弾き振りは僕にとって新しい経験でとても嬉しいオフアーでしたが、時折「なんで自分は人前に出ることが本当は嫌いなのに演奏しているんだろう」なんて考えたりもします。でもお話があれば今後も引き受けていくんです（笑）。これはきつと今日食べたかぶら寿しのように、すごくおいしいものを食べたら人に言いたくなりますよね。それと同じように「この音楽が好きだ」って想いを心に留めておけない。これは人間の本能なんじゃないのかなって思います。



※インタビューは2026年2月20、21日の特別定期公演Vol.4のリハーサル後にお話を伺いました。

速報!

★ 2027 1/10 開演 14:00
会場: コンサートホール

石川県立音楽堂 リサイタルシリーズ Vol.9

チェロ: 上野通明

ピアノ: 北村朋幹

メンデルスゾーン「チェロ・ソナタ第1番」ほか

チケット発売日: 10/10(土) 10:00 予定

※2026年7月現在

※続報は石川県立音楽堂HPでの発表をお待ちください。



金沢百番街 × 石川県立音楽堂

Artist meets Kanazawa

ピアニスト

北村 朋幹

愛知県出身



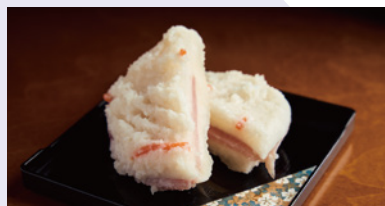
文 II K A D E N Z A 編集部

Tomoki Kitamura
piano

北村朋幹／東京音楽コンクール第1位・審査員大賞、浜松、シドニー、リーズ、ボン（ベートーヴェン）などの国際コンクールで入賞。第75回芸術選奨 音楽部門 文部科学大臣新人賞、第76回文化庁芸術祭賞 レコード部門 優秀賞、第22回佐治敬三賞受賞。録音は、新譜「アステリズム」を含む7タイトルのアルバムをフォンテックよりリリース。ベルリン在住。

金城かぶら寿し

かぶら寿しは、かぶらの間に鯛を挟み込み、糍で漬けた金沢のご馳走です。乳酸発酵による、まろやかなお味がお楽しみいただけます。



INFO 四十萬谷本舗 金沢百番街店

石川県金沢市木ノ新保町1-1

金沢百番街あんと

TEL. 076-260-3737

☎ 8:30～20:00 ☎ 不定休



“トランペットの祭典”ツアー

トランペット：松井秀太郎、セルゲイ・ナカリヤコフ、西村大地、児玉隼人（7/30～8/4公演のみ出演）
チェンバロ：曽根麻矢子 ピアノ：三浦友理枝、児玉 桃 指揮：中田延亮 出演：松井秀太郎カルテット

松井秀太郎／Trust Me ヘルテル／トランペット協奏曲 第3番
ジョリヴェ／トランペットとピアノのためのコンチェルティエーノ
チャイコフスキー／ロココ風の主題による変奏曲（フリュージェルホルン版）
アーバン／《ヴェニスの謝肉祭》の主題による変奏曲 松井秀太郎／ハイドン トランペット協奏曲“JAZZ” ほか
※開催地によってプログラムが異なります。

●音楽堂コンサートホール

ファンタスティック・オーケストラコンサート Vol.1 トランペットの祭典

7/25(土) 開演 14:00 〈問合せ〉石川県立音楽堂チケットボックス 076-232-8632

【全席指定】SS席 7,000円 / S席 6,000円 / A席 4,500円 / ビスタ席 2,500円 / 車椅子席 6,000円

●鎌倉公演

7/26(日) 開演 14:00

〈会場〉鎌倉芸術館大ホール
〈問合せ〉チケットスペース 03-3234-9999

●名古屋公演

7/27(月) 開演 18:45

〈会場〉愛知県芸術劇場コンサートホール
〈問合せ〉東海テレビ放送事業部 052-954-1107

●福岡公演

7/30(木) 開演 19:00

〈会場〉福岡シンフォニーホール
〈問合せ〉KBCチケットセンター 092-720-8717

●東広島公演

8/1(土) 開演 14:00 **全席完売**

〈会場〉東広島芸術文化ホール
〈問合せ〉東広島芸術文化ホールくららチケットセンター 082-426-5990

●大阪公演

8/2(日) 開演 14:00 **全席完売**

〈会場〉ザ・シンフォニーホール
〈問合せ〉ABCチケットインフォメーション 06-6453-6000

●東京公演

8/4(火) 開演 19:00 **全席完売**

〈会場〉東京オペラシティコンサートホール
〈問合せ〉チケットスペース 03-3234-9999

広上淳一指揮 OEK & 黒木雪音ツアー

指揮：広上淳一（OEKアーティストック・リーダー）

ピアノ：黒木雪音

モーツァルト／交響曲 第25番

リスト／ピアノ協奏曲 第1番

ベートーヴェン／交響曲 第5番「運命」

●音楽堂コンサートホール

第503回定期公演 フィルハーモニー・シリーズ

9/18(金) 開演 19:00

〈問合せ〉石川県立音楽堂チケットボックス 076-232-8632

【全席指定】SS席 7,000円 / S席 6,000円 / A席 4,500円
ビスタ席 2,500円 / スターライト席 1,500円 / 車椅子席 6,000円

●上越公演

9/20(日) 開演 14:00

〈会場〉上越文化会館
〈問合せ〉上越文化会館 025-522-8800

【全席指定】S席 5,000円 / A席 3,000円 ※18歳以下S席無料

●甲府公演

9/21(月祝) 開演 14:00

〈会場〉YCC県民文化ホール
〈問合せ〉YCC県民文化ホール 055-228-9131

【全席指定】一般 5,000円 ※18歳以下無料

●岐阜公演

9/22(火・休) 開演 14:00

〈会場〉サラマンカホール
〈問合せ〉サラマンカホール・チケットセンター 058-277-1110

【全席指定】S席 5,500円 / A席 4,500円

●大阪定期公演

9/23(水・祝) 開演 14:00

〈会場〉ザ・シンフォニーホール
〈問合せ〉ABC チケットインフォメーション 06-6453-6000

【全席指定】A席 6,000円 / B席 4,500円 / C席 3,000円

サマースペシャル・コンサート

8/25(火) 開演 19:00

指揮：松井慶太（OEKパーマナント・コンダクター）

ピアノ：チョン・スンホ、海野雅威

ベース：中林薫平 ドラムス：北沢大樹

案内役：上野雅美（北陸朝日放送）

シューマン／ピアノ協奏曲 イ短調

ガーシュイン／Summertime ほか

〈会場〉音楽堂コンサートホール

【全席指定】S席 5,000円 / A席 4,000円

定期会員 S席 4,000円 / 定期会員 A席 3,200円

岩城宏之メモリアル・コンサート

9/12(土) 開演 14:00

指揮：広上淳一（OEKアーティストック・リーダー）

ピアノ：徳永雄紀（2026年度岩城宏之音楽賞受賞者）

伊左治直／山海評判記（新曲委嘱作品・世界初演）

ラヴェル／ピアノ協奏曲 ト長調

ハイドン／交響曲 第100番「軍隊」

〈会場〉音楽堂コンサートホール

【全席指定】S席 5,000円 / A席 4,000円 / ビスタ席 3,000円

スターライト席 1,000円

随時入会可

邦友会のご案内

わずかな会費でチケット優先予約・割引など邦楽ファンをサポート！音楽堂邦楽関連の主催公演について、様々な特典があります。

特典1 チケットの先行販売

右記の邦友会対象公演について、一般発売に先駆け、前日に
お一人様2枚までお求めいただけます。

特典2 チケットの割引

・右記の邦友会対象公演について、**10%割引**でご購入いただけます。
・音楽堂主催公演を割引価格でご購入いただけます。

特典3 邦友会通信等の送付サービス

邦友会通信、季刊誌「KADENZA」、公演チラシを随時お送りいたします。

特典4 提携ショップサービス

ANAクラウンプラザホテル金沢（レストラン）・音楽堂内託児所で
優待サービスを受けることができます。※要会員証提示

▼2026年度対象公演

※下記の対象公演は変更になる場合がございます。

日時	公演名	先行販売	10%割引
7/7(火) 13:30	「山月記・名人伝」	○	○
7/25(土) 13:00/17:00	「DENGEIラボ」〈源氏物語〉	○	○
9/5(土) 14:00	「萬斎のおもちゃ箱」ボレロ	○	○
9/13(日) 16:00	リサイタルシリーズ「大西順子トリオ」	—	○
10/4(日) 13:30/17:30	「人形浄瑠璃 文楽」	○	○
10/14(水) 19:00	「トーマス・トロッター オルガンリサイタル」	—	○
10/22(木) 19:00	音楽堂開館25周年記念「森のうた」	○	○
11/17(火) 19:00	萬斎×OEK「真夏の夜の夢」	○	○
12/6(日) 14:00	「邦楽と舞踊の会」	○	○

▼2027年度対象公演

1/10(日) 14:00	リサイタルシリーズ「上野通明、北村朋幹」		○
1/17(日) 14:10	「萬斎の新春玉手箱」	○	○
2/11(木祝) 14:00	「和洋の響」	○	○
3/7(日) 14:00	「伝統芸能とオペラ」	○	○
3/21(日) 13:30	「いしかわ名匠・能楽鑑賞会」	○	○

年会費（入会日～2027年3月31日まで有効）

一般会員 3,000円 / 家族会員 1,500円

お申込み・お問合せ：石川県立音楽堂 邦友会係

TEL 076-232-3403 / FAX 076-232-8101

お申込みはこちらから▶

